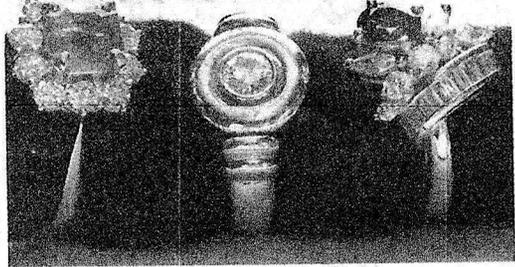


宝飾品買い取り額に大差

26業者で最大5倍

宝飾品の買い取り価格が店舗によって大きく異なることが3日、日本経済新聞の取材で分かった。東京、大阪など11地域の26業者に同じ宝飾品3点を持ち込んだところ、提示された査定価格に最大で5倍の差があった。バブル経済期に購入した宝飾品をシニア期に入って手放す人が増えているが、専門家は複数の店舗で査定を受けることを勧めている。



買い取り業者に持ち込んだ宝飾品

同じ地域でもバラツキ

指輪の査定価格は最大で5倍の差が出た

店舗場所	ダイヤモンド	エメラルド	サファイア	合計
① 新宿	5万円	15万円	6万円	26万円
② 御徒町	5万5000円	15万円	4万5000円	25万円
③ 御徒町	9万5500円	10万8500円	3万5000円	23万9000円
④ 御徒町	5万5000円	13万円	5万円	23万5000円
⑤ 銀座	6万5000円	10万円	6万円	22万5000円

② 銀座	2万3716円	2万2648円	2万0383円	6万6747円
③ 池袋	2万円	2万5000円	1万5000円	6万円
④ さいたま市	2万2500円	1万7500円	1万6200円	5万6200円
⑤ 横浜市	鑑定せず	2万7000円	2万3000円	5万円
川口市	2万円	1万5000円	1万5000円	5万円

(注)11地域26店舗で調査

2〜3月に11地域の買い取り業者26店にダイヤモンドとエメラルド、サファイアの3本の指輪を持ち込み、査定価格を尋ねた。宝石はいずれも第

三者の専門審査機関の証明書がついている。3本の合計が最も高額だった店は26万円で、最も安い店は5万円だった。どの店も査定の手順は大きく変わらない。指輪の重さを調べてからダイヤにペン型の宝石鑑別機

(テスト)を当てて本物か確認していた。テストは熱伝導の具合などからダイヤとガラスなどを判別する。東京・池袋の店ではテスターを使わず、ダイヤをルーペで見て「偽物の可能性が高い」と判断した。理由を尋ねると「き

れいすぎて不自然」との答えが返ってきた。横浜市の店も偽物の可能性を指摘し、ダイヤの指輪の査定をしなかった。同じ地域でも店によ

て提示額はまちまち。宝飾店が多く並ぶ東京・御徒町で最初に持ち込んだ店は23万9千円で、路地を挟んだ向かいの店では11万5千円だった。JR大阪駅近くで隣り合うビルでも20万円と13万円という結果だった。高値を提示した店舗の店員に聞くと「うちは中

国のオークションで転売できるから」と答えた。買い取った宝飾品を確実に転売できる自信がある店は強気で査定できるという。店頭で買い取られた宝飾品はそのまま転売されるか、宝石とリングに分けて、リングに含まれる貴金属が再利用される。安く査定した店舗は、金やプラチナなどのリング部の素材にしか値段をつけられない傾向があった。宝飾は輝きや美しさ

宝飾品の買い取り店は金券ショップやリサイクルショップと同じ古物営業法の対象。古物商の許可を得れば、チケットや家電と同様に宝飾品を買い取れる。宝石鑑定の専門機関、中央宝石研究所(東京・台東)によると、宝石の査定に資格はなく業界団体も存在しない。鑑定した人の裁量や判断が大きく影響する。ある業界関係者は「悪意をもって安く査定する」というやり、値打ちが分からず高く買い取れないのが実情」と高かす。特にエメラルドやサファイアといった「色石」と呼ばれる宝石は鮮やかに見せるた

宝石査定に資格なし

「複数店で比較を」

めに加熱などの加工処理が施されている場合が多く「判断が難しい」。査定価格の振れ幅も大きかった。国内では近年、老後を迎えた人たちがバブル期に買った高級な宝飾品を現金にしようという買い取り店に持ち込むケースが増えているが、宝飾品の価格に関する知識がなく、安く買い取られたことに気づかないことがある。宝石鑑定を専門に手がけるJ.A.G.(東京・千代田)の原田信之社長は「焦って売らずに、必ず複数店舗で比較してほしい」と呼びかけている。

別の店の店員は「バブル時代は宝石がかなり高い値段で売られていたのも事実」と明かしたうえで「購入時の10分の1の査定なら、まだましなほう」と明かした。

オフィス保証
フォーシース 4es

- 第2254回くじ
- 西春日 115039
- ◇1等 (3000万円)
- ◇1等 (1000万円)
- ◇1等 (100万円)
- ◇2等 (10万円)
- ◇3等 (25万円)
- 各組共通 147431